



第37回例会

平成19年4月11日(水)  
サンパレス福島

本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 奉仕の理念
3. 四つのテスト
4. 来訪者の紹介と会長挨拶
5. ゲストスピーチ  
福島西ロータリークラブ 米山奨学生 陳辰様
6. 各委員会報告
7. 閉会点鐘

お客様

久米允彦様(福島西RC会長)  
金子與志邦様(福島西RCパスト会長)

会長挨拶



斎藤 ミヨ会長  
皆さんこんにちは。新聞の見出しに心わくわく花のまち福島が目にとまりました。まさに桜花爛漫の季節でございます。

さくらの花言葉ご存知ですか。“優れた美人”だそうです。人それぞれに桜の花に思いを寄せて観賞すると思いますが、桜は一瞬とても華やかに見えても、和歌、俳句等にはとても悲しい、わびしい、切ないが詠まれていることが多いですね。

あまりお話していませんが、実は夫は4月20日、母が4月23日が命日となっておりますので、この4月の花の季節、特に桜には想いがございます。“一陽来復”と言う言葉がございますが“冬が去って春が来る”とか辛い時

期が過ぎて運が向いて来るというのだそうです。人生全く先が分かりませんが、桜の咲く季節がめぐってくる限り何か元気をいただける様なそんな今日この頃ですし、そして、悩み、苦しみが多くあった分だけ誰よりも桜の美しさを味わえることが出来ることを感じております。

話は変わりますが、先日7日でしたが2007年～2008年度GSE歓送会に出席して参りました。4月22日出発約1ヶ月米国テキサス州滞在ということで、最終打ち合わせ、準備等大変の様ですが、皆さんとても明るく和気藹々の様子を見て安心致しました。たまたまチームリーダーが須賀川ぼたんロータリークラブの職業が宮司さんでしたので当クラブ推薦の丹治史行君と意気がある、テキサス州で宮司さんの舞とか、日本の神道を話してこられるとかで、帰国のお話をとても楽しみに待ちたいと思います。

本日は福島西ロータリークラブ米山奨学生 陳辰(シン)さんより中国の正月、文化についてのスピーチをいただきますが、二月当クラブでも台湾研修旅行に行き、多くの仏閣を見て参りましたがやはり歴史、文化の違いについて大変勉強させられることがありました。今日の陳さんのスピーチがとても楽しみです。

ゲストスピーチ 陳辰様



福島西RC 米山奨学生(国籍 中国)  
福島大学 経済学研究科  
経営管理専攻修士課程 二学年

言い伝えでは、大昔「年」という獣がいて、毎年旧暦12月30日の夜に姿を現し、人を食べていたといわれています。この獣を退治するため、人々は食べ物を供え、身を潜めて隠れていました。獣がそれを食べに来ると皆赤い服を着て、灯りをともし、爆竹を鳴らして獣を袋叩きにしました。獣

は驚いて逃げ出し、人々は大喜びしたといえます。このような言い伝えにより、中国の春節が日本の正月と違って華やか、にぎやかという表現が適切でしょう。

皆様ご存知のように中国の春節には、大晦日の夜に一家団欒の願いが込められて家族がそろって食事をすることや麻雀をすることが一般的であります。しかし、中国の春節はこれだけではありません。春節は旧暦の12月23日から始まり、1月15日まで様々な伝統的な行事があります。

まず、旧暦12月23日にはかまどの神様を送り出す行事があります。各家庭にはかまどの神様がおり、この日、「玉皇上帝」に報告のために天に上る旅にでます。「玉皇上帝」は道教と仏教の混淆(こんこう)したもので、元始天尊のような神格の高い神ではなく、ふつうの人間が直接間わりあうことのできる最高の神であると考えられています。「龍神」の報告を受けて審査し、人間の言行の善悪を判断します。善行が多ければ幸福を授け、悪行が多ければ厄災を料します。ですから、人々は龍神のご機嫌をとったり、“甘い報告”をしてもらうために飴をお備えする習慣もあるようです。12月24日には掃房日といわれます。昔、人には「三屍神」というとても意地の悪い、人の悪口が大好きな神が着いており、この三屍神は天に上っては大神様に人間世界での天の悪口嘘八百を並べて報告していた為、本当のことを知らない怒った天は人間世界の蜘蛛の巣が張っている家はすべて潰すよう命令しました。これを見た三屍神は楽しくてたまたま、自分で家々に蜘蛛の巣を掛けてまわりました。しかしある日龍神がこれを発見し、竈王爺と相談し、人々に蜘蛛の巣を張らないよう、毎年12月24日に掃除をするようにいつけました。それからびたりと潰される家もなくなったということです。竈祭りが終わるといよいよ年越しの準備が始まります。

12月31日には餃子を一家で包みます。餃子は「元宝」という昔の金の形(船にお饅頭が乗っているような形)に包み、山盛り盛られた餃子はお金持ちになる意味をもち、更に餃子に綺麗に洗ったコインを包んでおき、一番先に食べ当てた人はその年金持ちになると言われています。餃子には新と旧が入れ替わる「更歳交子」という意味もあります。餃子を食べる習慣は、12月、寒く耳も凍る様子を見た医者が、貧乏な人にも寒さを凌げる食事として考えられたとも言われています。その為昔の餃子の具は羊肉や唐辛子等体温を高める作用のある材料が使われていました。春節を家々の玄関の左右に分けて貼ります。また玄関のドアは、翌日の正月一日の朝まで開けてはいけないと言われていました。夕飯を食べ終ると、年長者が子供たちに「紅包・压岁钱(お年玉)」をあげます。紅包は親から子へ、既婚者か

ら未婚者に贈られるものでした。今では旧正月前のボーナスを「紅包」と呼んでいます。紅色は力、愉快、楽しい運を象徴する中国人の大好きな色です。「庄」は邪悪な神を押しつぶし、「歳」は「崇」と同じ発音のため、压岁钱をもらった子供は平安に一年を過ごすと言われました。



今月・来月のプログラム

- 5月2日(水) 会員スピーチ(雑誌委員会)
- 5月9日(水) ゲストスピーチ
- 5月11日(金) 春の全国交通安全運動パレード  
(1:30～ 県庁西庁舎→福島駅東口)
- 5月16日(水) 地区協議会報告

編集担当 高橋正一